

各地区工学教育協会 会長殿
日本工学教育協会 役員殿
学校会員 各位
賛助会員 各位
企業会員 各位

公益社団法人 日本工学教育協会
専務理事 剣持 庸一
技術者倫理調査研究委員会
委員長 札野 順
(印省略)

第16回ワークショップ「技術者倫理」の開催案内
ー教育スキルの向上とこれからの技術者倫理を考えるー

標記ワークショップを下記により開催いたします。学校会員、賛助会員、企業会員各位におかれましては、会員並びに関係各位にご案内くださいますようお願い申し上げます。各地区工学教育協会におかれましても地区行事等の折にPRいただければ幸いに存じます。なお、本ワークショップは教育士(工学・技術)の「教育力向上セミナー」の一環と位置づけられており、教育士資格保有者、および今後受審予定の方にも有効な学習の機会となります。公務ご多端の折、お手数をお掛けしますが、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 開催の趣旨：今回のワークショップは2日間開催いたします。1日目は「技術者倫理教育の設計と指導法」と題し、カリキュラム設計、シラバス設計および教育スキルの向上を目標としています。2日目は「技術者倫理教育の新潮流」と題し、技術者倫理教育に関する最新の知見を提供するとともに参加者の皆様と今後の技術者倫理教育のあり方についてディスカッションを行いたいと考えております。技術者倫理教育を初めて担当される方、教育方法を改善したいと考えておられる方、技術者倫理教育に関心をお持ちの方など多数のご参加をお願いいたします。

(独)日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究(B)「国境なき技術者倫理教育の構築ーグローバル化社会を担う技術者の資質とその教育ー」(研究代表者：金沢工業大学・札野順)に関わる研究会合として企画しました。

2. 開催日程：平成27年12月11日(金)10:30~12月12日(土)16:30(10:00受付開始)
3. 開催会場：東京工業大学大岡山キャンパス 本館3階理学系第2会議室(152-8550 目黒区大岡山2-12-1)
東急目黒線・大井町線 大岡山駅 正門まで徒歩1分
<http://www.titech.ac.jp/maps/ookayama/ookayama.html>
4. プログラム：別紙
5. 募集人員：60名(先着順受付)、日工教会員外も受講可
6. 申込み：日工教HPの申込フォームにて、11月27日(金)までにお申し込みください。
7. 参加費：

	日工教個人正会員	日工教団体会員所属非会員	非会員
両日(12/11~12日)	15,000円	17,000円	20,000円
いずれか1日	8,000円	9,000円	11,000円
12/11懇親会(大学生協にて)	3,000円(実費)		

当日受付でお支払いください。領収書をお渡します(懇親会を除く)。(お釣銭のないようをお願いいたします)

なお、今後年度末までに開催予定のコミュニケーションWS、エンジニアリング・デザインWSと合わせて、お1人で複数回参加される場合は、割引料金を設定する予定ですので、今後のWSの案内を参照ください。

8. 継続教育ポイント：全プログラム(終日)参加者は16ポイント(11時間+参加5ポイント)
それ以外の方は、1時間につき1ポイント+参加5ポイント
9. お問い合わせ先：日本工学教育協会 事務局 事務局 川上 理英
Tel 03-5442-1021 Fax 03-5442-0241, ethics@jsee.or.jp

以上

第 16 回ワークショップ「技術者倫理」
ー教育スキルの向上とこれからの技術者倫理を考えるー

開催日時：平成 27 年 12 月 11 日（金）10：30～12 月 12 日（土）16：30（10：00 受付開始）

開催会場：東京工業大学大岡山キャンパス 本館 3 階理学系第 2 会議室

プログラム（敬称略）

1 日目「技術者倫理教育の設計と指導法」（12 月 11 日（金）10:30-17:00）

【概要】

技術者倫理教育を担当する方を対象に、教育スキルの向上を目的として実施いたします。参加者のみなさまと情報交換をおこなうとともに、カリキュラム設計、科目設計、教育手法などについて検討いたします。また、科目設計（モジュール作成）演習を通じて、具体的な教育内容、教育手法、測定・評価方法を検討していただきたいと考えております。

10:30-10:35	開会挨拶（事務局） 公益社団法人日本技術者教育協会専務理事 剣持 庸一	5 分
10:35-10:40	開催趣旨，スケジュール説明 小林幸人（技術者倫理調査研究委員会副委員長/熊本高等専門学校教授）	5 分
1 限目 技術者倫理教育のカリキュラム，科目設計		
10:40-11:00	講義 1 「学習・教育目標とカリキュラム設計，シラバス作成」 講師 小林幸人（技術者倫理調査研究委員会副委員長/熊本高等専門学校教授）	20 分
11:00-11:30	ディスカッション，情報交換「カリキュラム設計とシラバス作成について」	30 分
11:30-12:00	演習課題説明 ディスカッション「演習の進め方」	30 分
12:00-13:00	（昼食休憩）	60 分
2 限目 技術者倫理教育の指導法		
13:00-13:30	講義 2 「技術者倫理への動機づけを高める指導法（仮）」 講師 片倉啓雄（技術者倫理調査研究委員会委員/関西大学教授）	30 分
13:30-13:40	講義 2 への質疑・応答	10 分
13:40-14:10	講義 3 「問題分析スキル向上を目的とした指導法ーセブン・ステップ・ガイドを学ぶ」 講師 小林幸人（技術者倫理調査研究委員会副委員長/熊本高等専門学校教授）	30 分
14:10-14:20	講義 3 への質疑・応答	10 分
14:20-14:30	（休憩）	10 分
14:30-16:10	グループ・ワーク「モジュールの作成」	100 分
16:10-16:20	（休憩）	10 分
16:20-16:45	発表・コメント	25 分
16:45-17:00	総評 札幌 順（技術者倫理調査研究委員会委員長/東京工業大学大学マネジメントセンター教授）	15 分

2日目「技術者倫理教育の新潮流」(12月12日(土) 10:30-16:30)

【概要】

技術者倫理教育は、単なる知識の蓄積にとどまらず、実践の場で自律的に判断・行動するために必要な資質・能力を育成することを目的とする必要があるかと考えています。そこで、2日目は、以下のようなトピックを取り上げ、参加者のみなさまと今後の技術者倫理教育のあり方についてディスカッションをおこないたいと考えております。

- ・ 技術者倫理教育の新展開

外的規範による動機づけに留まらない、技術者としての価値観・態度の形成に対して、技術者倫理教育がどのような役割を担うことができるかについて検討いたします。

- ・ 企業統治と技術者倫理

倫理的な判断や行動は、単に技術者個人の善悪の問題ではなく、企業統治上重要な意味をもっていると考えられるのではないかと。企業統治と技術者の倫理的判断との関係について検討いたします。

- ・ 理論から実践へ

知識の獲得にとどまらず、判断・行動を伴う教育効果・学習成果をどのような教育実践によってもたすことができるかについて参加者のみなさまと検討いたします。

10:30-10:35	開会挨拶(事務局) 公益社団法人日本技術者教育協会専務理事 剣持 庸一	5分
10:35-10:40	開催趣旨、スケジュール説明 小林幸人(技術者倫理調査研究委員会副委員長/熊本高等専門学校教授)	5分
10:40-11:20	講演1「技術者倫理教育の新展開(仮)」 講師 札野 順(技術者倫理調査研究委員会委員長/東京工業大学大学マネジメントセンター)	40分
11:20-12:00	ディスカッション	40分
12:00-13:00	(昼食休憩)	60分
13:00-13:40	講演2「企業統治と技術者倫理(仮)」 講師 中村暢彦(NEC 内部統制推進部、経営倫理実践研究センター常任理事)	40分
13:40-14:00	ディスカッション	20分
14:00-14:10	(休憩)	10分
14:10-14:30	話題提供「理論から実践への技術者倫理教育手法—知識から行動へ移すために何ができるか? (仮)」 担当 小林幸人(技術者倫理調査研究委員会副委員長/熊本高等専門学校教授)	20分
14:30-15:10	ディスカッション「理論から実践への技術者倫理教育手法—知識から行動へ移すために何ができるか? (仮)」	40分
15:10-15:20	(休憩)	10分
15:20-16:00	全体討論「技術者倫理教育の問題と今後の方向」	40分
16:00-16:20	コメント・質疑応答	20分
16:20-16:30	総評・閉会	10分

- ・ 授業実施上工夫していること、事例、教育効果測定方法や学習成果の評価方法など、アイデアがありましたらお持ちください。
- ・ 講師の都合により、講義時間が一部変更になることがありますので予め、ご了承ください。
- ・ 一日目のグループ・ワークについては、パワーポイントで発表して頂きますので、可能ならパソコンをご持参ください。
- ・ 一日目のプログラムは、教育手法の教材化を目的として記録撮影を行う予定ですのでご了承ください。

申込先	日本工学教育協会事務局行
Fax 03 (5442) 0241	
メールアドレス	ethics@jsee.or.jp

申込期限：平成 27 年 11 月 27 日 (金)

第 16 回ワークショップ「技術者倫理」参加申込書

申込日	2015 年 月 日
J S E E 個人会員番号 (非会員の場合は非会員とご記入ください)	
フリガナ	
参加者氏名	
所属先名 例) ○○大学○○学部○○専攻, ○○(株)○○部	
職名 例) 准教授, 課長	
連絡先 e-mail	
電話番号	
FAX 番号	
参加するものを○で囲んでください.	・両日 ・1 日目のみ ・2 日目のみ ・12/11 懇親会
技術者倫理関連授業経験年数	
技術者倫理教育に関する疑問, ご意見	
「行動に結びつけるための技術者倫理教育」または「これからの技術者倫理教育」について, ご意見等	
その他, とり上げて欲しい問題点	

(受領いたしましたら, メールにて受付済みのご連絡を差し上げます)

受付	平成 27 年 月 日
受付番号	
連絡日	平成 27 年 月 日
取扱者名	